

Rotary

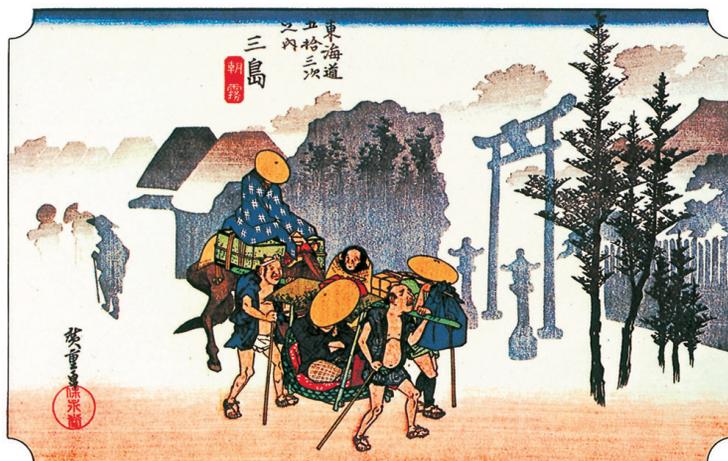


R. I. 第2620地区 静岡第1グループ
三島西ロータリークラブ

週報

第2253号

事務所 静岡県三島市泉町9-8
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹
TEL(055)975-3210
会長 森崎 祐治 幹事 川名 正洋



広重版画より 三島 朝霧

第2324回例会

2022.5.12雨

司会

小塚英樹君

ロータリーソング

「奉仕の理想」
指揮 西本和夫君

会長挨拶

会長 森崎祐治君

皆さんこんばんは。

風薫る5月に入りました。連休を皆さんどう過ごされたでしょうか。連休明けてからまた少しコロナ患者の増加がみられ心配です。

さてロータリーの行事について先月4月は、23日米山記念館で春の例祭、24日(土)地区協議会(Zoom)、29日(金)地区奉仕活動委員会セミナー(Zoom)があり、5月に入って1日(日)に三島RC創立65周年記念式典が開かれ会長、幹事で出席してまいりました。式典は規模を縮小して開催されましたがアトラクションはわが三島西RCからザ・ウエストサイズバンドが友情出演し歌と演奏を披露して祝宴を大いに盛り上げました。甲府から見た地区役員の方もバンドの出来栄えに感心していました。ザ・ウエストサイズバンドの皆さんお疲れさまでした。当クラブのPRにもなり有難うございました。ギャラをたんまり?はずんでいただいたことと思います。

さて、わが三島西RCは記念式典を1年延期したわけですが記念事業準備に弾みをつける仕切り直しのキックオフをやるうと決めておりました。そしてこれをなんとかこの年度内に行いたいと考え6月のサヨナラ例会の中でキックオフの時間を設け次年度記念事業実施に向けムードアップを図り、盛り上がるサヨナラ例会にしたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

出席報告

	出席総数	出席率	メ ア ッ ク ブ	修 出 席 正 率
前々回	38/48	79.17%	43/48	89.58%
今回	46/50	92.00%	会員総数	53名

欠席者 秋元君、杉崎君、相山君、橋本君

幹事報告

幹事 川名正洋君

- 5月行事予定(青少年奉仕月間)
 - 12日(木) 呉竹 17:30 理事・役員会
18:30 夜間例会 クラブミーティング
 - 26日(木) 呉竹 12:30 例会 卓話 柴崎恵子君
- 6月行事予定(ロータリー親睦活動月間)
 - 2日(木) 呉竹 11:30 理事・役員会
12:30 例会 卓話 藤江康儀君
 - 9日(木) 呉竹 18:30 夜間例会
クラブ協議会 各委員会年間報告
 - 23日(木) 富嶽はなぶさ 18:30 さよなら例会
- 5月21日・22日 国際ロータリー第2620地区大会(甲府)が開催されます。
- 5月23日 さよなら例会については富嶽はなぶさで会員のみで開催します。ご案内は次回例会で配布します。
- さよなら例会時に50周年のキックオフミーティングを開催します。
- 8月25日(予定)当クラブ主催でザ・ウエストサイズバンドによるウクライナ支援チャリティーコンサートが開催されます。
- 6月2日の卓話者藤江さんですが、ゲストスピーカーとして参議院議員の今井絵理子さんが見えになります。

2021~2022年度
国際ロータリー会長
シェカール・メータ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

クラブ協議会

SAA

秋山恭亮君

SAAは西本さん、柴崎さん、小塚さん、杉崎さん、委員長の秋山の計5人で例会の運営を行ってきました。年度当初「規律のある中、三島西ロータリークラブの伝統である楽しく親睦を深められる例会運営を心がける」ことを目標と活動指針にして参りました。

一年間通し、三島西ロータリークラブの皆さん一人一人に、規律と親睦というマインドが強く根付いているということを感じました。われわれSAAは、皆さんのお手伝いをするだけで、目標とする例会の運営ができました。

1年間何とかやっていくことができたのも、皆様のおかげです。ありがとうございました。

クラブ広報委員会

委員長 赤池克斗君

会員の皆様、事務局のお蔭をもちまして1年間遅滞なく週報をお届けすることができましたこと、地域メディアにも働きかけをしていただきましたことを感謝申し上げます。

地域の皆様にも地域メディアを通じ、コロナ禍であってもロータリーの活動をアピールできたことと思います。活動計画に掲げたロータリー・クラブセントラルの周知までには至りませんでした。誰にでも使いやすいプラットフォームになることを祈りながら、委員会報告とさせていただきます。

会員増強維持委員会

委員長 前田博利君

今年度は新会員7名、退会3名、会員数55名となりました。委員長の私自身は力不足でしたが、会員の皆様、委員のお力で会員拡大をすることができました。新型コロナ流行禍で会員同士のコミュニケーションの限られた中、増強維持が図れましたことは皆様の友情のお陰です。引き続き三島西ロータリーの一員として維持増強に努めてまいります。

クラブ管理運営委員会

委員長 原 久一君

今年度も新型コロナウイルスはまん延防止法が発出され本年度の例会は当初の計画から開催回数が大幅に減少、卓話機会が少なく期待に沿うことができず卓話予定者にはご心配をおかけしました。

・9月・1月・2月例会が無く例会の開催が減少しましたが7月92,76%・8月95,83%(例会1回)・12月91,21%・4月91,32%と4ヶ月は90%以上と

なり本年度の平均修正出席率は、90,04%となり出席率の向上にご協力を頂きありがとうございました。

本年度は例会開催にあたり会長・幹事をはじめ役員の皆様には、ご理解ご協力を頂き全て無事計画を遂行することができました。

親睦活動委員会

委員長 平出利之君

親睦活動委員会には13名のメンバーがおります。活動計画の中で唯一実施出来なかったのが、家族親睦例会です。コロナ禍の中での実施は控えさせて頂きました。後はサヨナラ例会がありますが、今回はメンバーだけの開催とさせて頂きました。会場は富嶽はなぶさ、開会点鐘は6時となっております。よろしくお願いたします。

ロータリー情報委員会

委員長 鈴木郁夫君

前期はこれといった活動ができませんでしたが、4月21日に新会員のための勉強会を行いました。

その時に用いた冊子資料、「新会員のためのロータリー情報」(ホームページに掲載されていましたが、内容が古くなった部分があったので改訂しました。)新規作成した「ロータリーの歴史」「ロータリーの目的と奉仕の理念」「新会員研修会資料」を会員へのロータリー情報の提供という事で例会で配布しました。

この冊子資料はホームページに掲載する予定です。クラブフォーラムでの卓話による会員へのロータリー情報の提供は例会が中止となったためできませんでした。地区大会に出席してロータリー情報の収集に努めました。

日程の関係で本年度中に勉強会の開催ができなかった新会員の方は、次年度にお願いしました。

職業・社会奉仕委員会 委員長 木村安紀夫君

昨年に続き今年も1年を通じて新型コロナに影響され、活動自粛の1年でした。奉仕活動の目玉の1つである見晴らしフェスティバルも外部参加無しの開催となり、昨年同様、和楽さん手配で飲料を寄付させていただきました。

10月6日(土)三島クラブ主催、せせらぎ三島RCと日大三島高校、知徳高校インターアクト合同、三島ヨーカドー前にてポリオ撲滅運動に参加。西クラブからは森崎会長、川名幹事以下11名の参加となり総額¥64,476円の募金が集まりました。

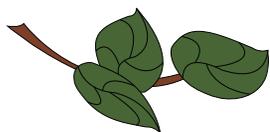
11月8日(土)三島西クラブ主催、3クラブ合同、国際交流協会有志、総勢65名の参加で楽寿園の落ち葉拾いの清掃活動を開園前に実施。同日行われた国際交流協会主催のオータムフェアは秋の散策日和となり、ロータリーの奉仕活動を三島市民にアピールする良い機会となりました。

12月19日(日)せせらぎ三島クラブ主催、三島3クラブに加えて長泉RCも参加。SBSマイホームセンターにて「食育&夢育」をテーマに困窮家庭、ひとり親家庭を支援しているボランティア団体「みんなのえがお おたまちゃん食堂」を支援、ロータリアン会員に呼びかけ沢山の食品、雑貨などを提供いただき、イベントに参加した子供達も笑いの絶えない一日となりました。

年が明け、再び新型コロナが増加、奉仕活動もできない状況が続きました。4月に入り、例会を再開、5月22日(日)ロータリー2620地区大会が甲府で開催され当クラブからは7名の出席となりました。久々の大会で1000人位の会員が終結、ロータリー奉仕活動、会員増強への一層の盛り上がりを感じられる一日となりました。

今年8月に、三島西クラブの音楽仲間グループ(ザウエストサイズ)でウクライナから三島に避難している方々を応援するコンサートをみしまプラザホテルで開催することになり、三島西ロータリー主催で行う事が決定しました。社会奉仕、国際奉仕の一環から皆様にご協力をお願いする次第となりました。次期職業・社会奉仕委員会、国際奉仕委員会にも是非ご協力をいただき進めていきたいと思えます。

今年一年を通して、厳しい環境下ではありましたが、皆様のご協力で奉仕活動を行う事ができ、ありがとうございます。



国際奉仕委員会 委員長 千葉慎二君

三田副委員長に加えて、関本照文さん、遠藤正幸さん、佐野宏三さん、須田治夫さん、町野暉さんという万全の態勢で臨ませて戴いたにも係わらず、憎つきコロナ禍のせいで、苗栗からの交換中学生受入事業が中止、苗栗51周年式典への大勢での参加も中止、姉妹友好クラブをお招きする当クラブ50周年記念式典も延期と、台湾との交流が一つもできない結果となりました。また、三島市国際交流協会主催の国際交流フェアも中止となりましたが、11月7日(土)に楽寿園で開催された同協会主催のオータムフェアには、楽寿園北口の清掃奉仕活動を兼ねて例会参加できました。また5月には、当初は苗栗中学生受入事業に活用する予定であった地区補助金を転用し、三島市国際交流協会に対して、海外姉妹都市とのリモート交流のための諸機材の寄付をすることができ、例会での贈呈式の模様が静岡新聞と伊豆日新聞に掲載されました。一年間の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

ロータリー財団米山委員会 委員長 柴崎恵子君

[ロータリー財団]

ロータリー財団へのご寄附ありがとうございました。

○年次寄附 前期 \$3000 後期 \$1700

皆様から多額のご協力頂きました。

2620地区目標 寄附をしていない会員を0にする目標達成に努力いたしました。

○ベネファクター

後期に\$1000の寄附を森崎祐治会長にご協力頂きました。地区目標達成できました。森崎会長ありがとうございます御座いました。ベネファクターとして認証されました。

○地区補助金

R財団より地区補助金 ¥200,000 いただきました。

新型コロナウイルスの影響で苗栗との交換研修中学生の派遣事業は中止となりました。ロータリー財団による派遣計画変更が許可されました。地区補助金とクラブからの資金¥214,000 で三島市国際交流協会へプロジェクト一式を寄贈いたしました。

[米山]

○米山記念奨学会への寄付

前期 ¥270,000 後期 ¥240,000

皆様のご協力ありがとうございます御座いました。

○米山梅吉記念館

賛助金をクラブ予算から¥159,000 納入いたしました。

米山梅吉記念館創立50周年記念事業に対してクラブ予算より¥212,000 寄附いたしました。

(内訳:会員53名×¥4,000) 本年で終了。

おめでとう

会員誕生日 秋元君
入会記念日 西本君、前田(房)君、平出君、
柴崎君
奥様誕生日 加藤君、三田君
結婚記念日 窪田君

スマイルボックス

- ◆窪田君、本日、佐野さんにお世話になり、無事土地の契約ができました。ありがとうございました。まだ頑張ります。宜しくお願いします。
- ◆伊丹君、伊豆箱根鉄道の踏切で自殺希望の若い娘さんがいましたが、一命助けることができました。はじめてこの様な場面にあいましたが、今夜悪い夢を見そう。本日は早退致します。
- ◆Bテーブル、6月3日にテーブル会を開催しました。9人全員参加で楽しい時間を過ごしました。残金をスマイルします。

ROTARY NEWS

2月にロシア軍がウクライナに侵攻してから1日も経たないうちに、チェコ共和国とスロバキアのロータリークラブは、ウクライナへの必需品の輸送やウクライナからの避難民の移動を援助するために、人脈を駆使して鉄道拠点の利用権を確保しました。ウクライナとの国境から100Kmほど離れたコシツェ（スロバキア）には、東西を結ぶ鉄道の貨物ターミナルがあります。ウクライナからの広軌鉄道でこのターミナルに運ばれた原材料は、標準軌の貨物列車に移されて欧州各地へと運ばれます。多国籍の輸送会社の多くがこの貨物ターミナルを利用しており、ロータリー会員もここを拠点にウクライナの支援活動ができることにすぐに気づきました。

マルティン・ピトラークさん（コシツェ・ロータリークラブ会長）が以前に副社長を務めていたUSスチール・コシツェ社も、この貨物ターミナルを利用しています。ピトラークさん、そしてチェコ共和国のミヒャル・スラムさん（パルドゥビツェ・ロータリークラブ会長）を含むロータリー会員たちが、交渉の末にこのターミナルの利用権の確保に成功しました。

モニカ・コチオヴァさん（コシツェ・ロータリークラブ/ローターアクトクラブ会員）は言います。「ほかの人たちがやっと連絡を取り始めた頃、私たちは既に支援の手配を行っていました」ウクライナの鉄道網は世界最大級であり、トラックでは行きにくい場所にもアクセスできるため、この拠点を確保することは重要でした。

コチオヴァさんによると、ロータリーは、救援物資の輸送のためにこのターミナルの利用許可を得た最初の人道奉仕団体であり、クラブが集めた医療物資、保存食品、衛生用品をいっぱい積んだ列車がウクライナに輸送されています。以来、スロバキア政府と欧州連合も、鉄道でウクライナに物資を輸送する主要な経路としてこのターミナルを指定しました。

コシツェ（スロバキア）に到着した物資は、ロータリーのボランティアによって荷下ろしと仕分けが行われ、ウクライナへと運ばれていきます。ロータリークラブとローターアクトクラブはさらに、60台以上のトラックとバスを使って740トン分の物資をウクライナ西部にある国境沿いの都市ウジホロドに運びました。これらの物資はここから国内各地へと届られます。

「必要な時にロータリーの力が発揮されているのを見て、うれしく思います」とピトラークさん。「物資だけでなく、世界各地から資金も寄せられています」

役立つ鉄道

ロータリークラブとローターアクトクラブは、広軌鉄道網の活用に加え、「Railway Helps」（役立つ鉄道）と呼ばれるイニシアチブに参加しています。チェコ共和国の旅客会社Gepard Express社のオーナーが立ち上げたこのイニシアチブでは、ウクライナへの物資輸送とウクライナからの人びとの避難のために旅客列車を使っています。このイニシアチブで現在までに、ウジホロド地域（ウクライナ）の町に500トン以上の物資が運ばれ、ウクライナ避難民5,500人以上を乗せた列車がパルドゥビツェ（チェコ共和国）に戻っています。

ロータリー会員は、募金活動、地区からの資金、Gepard Express社オーナーからの寄付など、さまざまところから資金を調達しています。参加している鉄道各社も多額のコストを負担し、無償で援助を提供している団体もあります。

多方面との協力

他団体との連携が、この取り組みの成功に極めて重要となっています。ロータリークラブとローターアクトクラブは、ウクライナの議員や外交官、地方の知事といったウクライナ政府関係者に加え、ハルキウ、チェルカッスイ、ウジホロド、ムカチェヴォといったウクライナ各地の病院と協力しています。

(週報担当:赤池克斗)